



ピークからの下りは尾根に見えず、斜面に見えるため分かりづらい

畠山から北上し乳頭山付近で違う尾根に道迷い。来た道を戻り登山を再開させた。

至：畠山

211

道迷いの典型的なパターン。

- ①尾根を登ってきてピークを過ぎて真っ直ぐ進んでしまう。（道が曲がれない）
- ②下り初めが斜面になっていて、斜面を下った先に尾根がある。
- ③いくつものピークを越えてきて右に曲がるピークをロストした。

対策として、特徴物の「先読み」は

- ①道を曲がるピークは手前が急斜面のピーク
- ②南西からの尾根との分岐
- ③ピークからコンパスで進む方向を確認する

里山の道は間違えやすい。先日、山岳会の中で読図講習会を行った。特徴物を確認し、コンパスで進行方向を確かめながら進む内容だった。コンパスは難しくて使えないのではなく、正しく教えてもらっていないだけだと思う。なぜなら、コンパスを初めて使った会員も昼までには、コンパスの使い方をマスターし、昼からは手際よく使っていたからだ。国立登山研修所のHPにコンパスの使い方の動画が掲載されている。ぜひ、内容を参考にしてほしい。